

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 滅菌 1.5%ハイポアルコール
滅菌 4%ハイポエタノール
ハイポアルコール
滅菌ハイポアルコール

会社名 : 吉田製薬株式会社

住 所 : 東京都中野区中央5-1-10

担当部門 : 業務本部学術部

電話番号 : 03-3381-2004

FAX 番号 : 03-3381-7728

電子メールアドレス : info@yoshida-pharm.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類(エタノール)

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	区分1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肝臓)、区分2(中枢神経系)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分外
	水生環境有害性(長期間)	区分外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報	引火性の高い液体及び蒸気 眼刺激 呼吸器への刺激のおそれ 眠気又はめまいのおそれ 発がんのおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ
注意書き	使用前に取扱説明書入手すること
安全対策	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 容器を密閉しておくこと。 容器を接地すること/アースをとること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 取扱後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

GHS分類(チオ硫酸ナトリウム)

GHS分類基準に該当しない

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	チオ硫酸ナトリウムエタノール溶液
別名	ハイポエタノールまたはハイポアルコール
濃度又は濃度範囲	滅菌 1.5%ハイポアルコール： チオ硫酸ナトリウム：1.5w/v% エタノール：59vol% 滅菌 4%ハイポエタノール： チオ硫酸ナトリウム：4w/v% エタノール：48vol% ハイポアルコール： チオ硫酸ナトリウム：10w/v% エタノール：38vol% 滅菌ハイポアルコール： チオ硫酸ナトリウム：10w/v% エタノール：38vol%
化学特性(化学式等)	C ₂ H ₆ O(エタノール)、Na ₂ S ₂ O ₃ ・5H ₂ O(チオ硫酸ナトリウム 5水和物)
CAS 番号	64-17-5(エタノール)、10102-17-7(チオ硫酸ナトリウム 5水和物)

官報公示整理番号 化審法 2-202(エタノール)、1-503(チオ硫酸ナトリウム)

化学物質排出把握管理促進法 非該当

(PRTR 法)

労働安全衛生法(通知対象物質) 第 61 号 エタノール

毒物劇物取締法 非該当

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸停止または呼吸が弱い場合は、衣類を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。直ちに医療手当を受ける。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類、貴金属、靴等を速やかに取り外し、本品に触れた部分を石鹼で洗い、水でよく洗い流す(15～20 分間)。必要であれば医療手当を受ける。

目に入った場合

直ちに大量の水で眼を洗浄する。洗浄の際は瞼を指で開いて、眼球、瞼の隅々まで洗浄すること。洗浄後は、直ちに医療手当を受けること。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄した後、コップ数杯の清水を飲ませ希釈する。直ちに医療手当を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入：咳、頭痛、疲労感、し眠

皮膚：皮膚の乾燥

眼：発赤、痛み、灼熱感

経口摂取：灼熱感、頭痛、錯乱、めまい、意識喪失

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグル等の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

大量の水、粉末消火剤、二酸化炭素、水溶性液体用泡消火剤等

火災時の特有危険有害性

刺激性又は有害なガスが発生する。

少量の水での消火は、火災を拡大させる。

特有の消火方法

火災初期は、大量の水の噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素により消火を行うこと。

大規模火災発生時は、大量の水の噴霧、または水溶性液体用泡消火剤による空気遮断にて消火を行うこと。

容器爆発防止のため、容器に大量の水を噴霧し容器類を冷却すること。

消火を行う者の保護

防炎耐熱保護具、マスク等消火作業に適した保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

漏出液の回収及び清掃作業者は、適切な保護具を着用し、眼、皮膚への漏洩物の接触及び揮発ガスの吸入を避けること。適切な防護服については「8. ばく露防止及び防護措置」を参照。

環境に対する注意事項

少量の場合には、こぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流すこと。

大量の場合には、速やかに漏出を止めた後、漏出液を密封式の空容器にできるだけ回収すること。

また漏出液を回収出来なかった場所は大量の水で洗い流すこと。

回収、中和

漏出液はウエス、雑巾などにより吸着させて空容器に回収すること。

二次災害の防止策

付近の着火源を速やかに取り除くこと。

漏れている容器は、火気に注意し、屋外又は換気のよい隔離された場所へ移動し、残余物については密閉容器に移すこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

火気その他着火源、酸化剤に対し、接近及び接触を避けること。

強酸化剤との接触を避ける。酸性物質との接触を避ける。

注意事項

みだりに加熱及び蒸発しないこと。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃与え、又は引きずる等の扱いをしない。

使用後は容器を密閉する。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

十分な換気設備があり、整理整頓されている場所で取扱うこと。

保管

安全な保管条件

直射日光や高温多湿を避ける。

容器を密閉して保管する。

熱、火花、裸火、高温の物のような着火源から離して保管すること。

混触危険物質とは隔離して保管すること。

混触危険物質

次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア、硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀
過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤、酸類、塩素、ハロゲン、ヨウ素、鉛塩
水銀及び水銀塩、硝酸の金属塩、カリウム、亜硝酸カリウム、銀塩、
ナトリウム、硝酸ナトリウム、亜硝酸ナトリウム

容器包装材料

ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定(エタノール、チオ硫酸ナトリウム)
許容濃度	
日本産衛学会(2015年版)	未設定(エタノール、チオ硫酸ナトリウム)
ACGIH(2015年版)	TVL-STEL 1,000ppm(エタノール)、未設定(チオ硫酸ナトリウム)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、装置の密閉化又は防爆タイプの局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸用防護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状	液体
色	無色澄明
臭気	エタノール特有の芳香
pH	データなし(エタノール) 6.5~8.0(チオ硫酸ナトリウム)
融点	-114.15°C(エタノール) 48°C(チオ硫酸ナトリウム)
沸点	78.32°C(760mmHg ; エタノール)
引火点	13°C(密閉 ; エタノール) 18°C(開放 ; エタノール)
爆発範囲	3.3~19.0vol%(空気中 ; エタノール)
蒸気圧	5878Pa(=44.1mmHg) : 20°C(エタノール)
比重	0.7936(d15/4 ; エタノール) 1.715(27°C ; チオ硫酸ナトリウム)
発火点	439°C(エタノール)
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	混触危険物質、火源との接触、衝撃、日光、高温を避けること。
危険有害な分解生成物	硫黄酸化物、酸化ナトリウム

1 1. 有害性情報(エタノール)

急性毒性	ヒト	経口	LDLo ;	1,400mg/kg		
	ラット	経口	LD ₅₀ ;	7,060mg/kg		
皮膚刺激性	ラビット	400mg(開放)		症状(軽度)		
	ラビット	500mg/24h		症状(重度)		
眼に対する重篤な刺激性	ラビット	100mg/24h		症状(中度)		
生殖細胞変異原性	データなし					
発がん性	マウス	経口	TDL ₀ ;	320mg/kg/50 週		
生殖毒性	ラット	経口	TDL ₀ ;	44g/kg	妊娠 7~17 日	発育異常
	ラット	吸入	TCL ₀ ;	20,000ppm	妊娠 1~22 日	発育異常
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露、反復ばく露)				データなし		

1 2. 環境影響情報(エタノール)

毒性(魚毒性)	マスの稚魚	LC ₅₀	11.2g/L・24h
	コイの一種	LC ₅₀	18~13.4g/L・96h
残留性と分解性	理論酸素要求量	2.10mg/L	
	BOD ₅	0.93~1.67mg/L	
	COD	1.99~2.11mg/L	
バクテリア硝化能の抑制	4,100mg/L でニトロソモナス種のアノモニア酸化の 50%抑制		

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」等の法令を遵守し、適切な廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 : 1170

品名 : (国連輸送品名) : エタノール又はその溶液(アルコールの含有率が 24 容量%以下の水溶液を除く。)

国連分類 : クラス 3

容器等級 : II

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

陸上規制 : 特段の規制なし(非危険物)

海上規制 : 特段の規制なし(非危険物)

航空規制 : 特段の規制なし(非危険物)

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

15. 適用法令

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	非該当

16. その他の情報

免責事項

この文書に含まれる情報は作成時点において、信頼すべきデータに基づいて作成されたものですが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。なお、弊社では本情報に関するいかなる保証も致しません。